

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第 24 号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



(一財)長崎県剣道連盟会長就任の挨拶

(一財) 長崎県剣道連盟 会長 灰谷達明

このたび、令和 4 年 6 月開催の県剣道連盟理事会において当連盟の会長(代表理事)として選任されましたので、ごあいさつならびに所信を表明したいと存じます。

剣道連盟の理事歴は 20 年間に及び、この間の歴代会長の人間性や卓越した見識に触れることで多くの示唆や教示を賜り、得ることは“山のごとし”ですが、私自身は先達に較べるものなど何一つございません。

然しながら、何事に対しても探求心と向上心を携えて積極的に立ち向かっていきたいと念願しており、恩師から授かった“ 人生意気に感ず ”を座右の銘として進む覚悟です。

ところで、剣道界を取り巻く状況は決して楽観できるものではなく、種々の問題が顕在化しつつあります。

- ① 昭和 50 年代の剣道人口は凡そ 400 万人と言われておりましたが、現在はその3分の1程度ではないかと思われます。剣道修行の入り口たる少年剣道指導者の皆様との連携は喫緊の課題と認識するところです。
- ② 未だ偏った師弟関係の解釈によるトップダウンやパワーハラスメントの風潮が一部残存しているように感じられます。私自身も含め認識を変革していきます。
- ③ 優れた伝統文化たる剣道・居合道・杖道の三道を衰退させることのなきよう健全財政を目指し多面的取り組みを検討しています。
- ④ 社会全体の世界観や倫理観が大きくなねりとなってスタンダード化される中、全剣連でも大きく舵をとりつつあるように思います。コンプライアンス遵守、組織内ガバナンス、ジェンダー平等、SDGsの流れ等々剣道界においても看過できるのではなく、これらの精神を受容しつつ、古き良き民族の文化と融合させていく工夫が必要となるでしょう。

以上①～④の問題については、私なりの具体的ビジョンも想定しておりますので、皆様とともに情報や問題点を共有しながら一歩ずつ前進していきたいものです。

居合道部会や杖道部会の皆様、道場連盟や学校剣道連盟の皆様とも一層の連携を深め、共に前進していきたいものです。喜ばしいことに、近年強化委員会や普及委員会の努力の結果、全国規模の成果を挙げるなど、明るい展望が開かれつつあります。

困難な課題が指摘される中、これらに敢然と立ち向かう姿は、剣道の本義であると信じるところでございます。皆様のご指導ご協力を強くお願いいたしまして、就任のごあいさつとさせていただきます。



（一財）長崎県剣道連盟 令和4年度、5年度 役員

標記の新役員が令和4年6月25日（土）の評議委員会において承認を受け、理事会で決定いたしました。

					
会 長	副会長	副会長兼 副理事長	副会長	副会長	理事長
灰谷達明	吉井 誠	片山倉則	岡島正己	中村恭子	藤原昌史

理事

長崎県警剣道部	梅田福一郎	五島市・上五島地区	長尾正博
官公庁連合会	西山 純	壱岐市・対馬市	澁江雄司
学校剣道連盟	月原博史	居合道部	高木志伸
長崎市	畝本不可止	杖道部	橋本幸一
諫早市・西彼地区	野副武之	審査・審判委員会	松尾耕次
雲仙市・島原市・南島原市	渡邊孝経	普及委員会	古川俊樹
大村市・東彼地区	喜々津保則	強化委員会	岩松正直
佐世保市	山本昌克	女子委員会	福田美佐子
松浦市・北松地区・平戸市	吉田晶利		

監 事

陣内俊幸(官公庁連合会)	坂口 昇(官公庁連合会)	中尾和章(佐世保剣道協会)
--------------	--------------	---------------

役員

名誉会長	松尾博行		
顧問	末永正幸	顧問	馬場武典
相談役	馬場勇司	相談役	佐藤信秀
参与	松田賢一	参与	一瀬宏明
参与	井流兼三	参与	小野田稔
参与	永安健次		

評議委員

長崎県警剣道部	島田貴文	佐世保剣道協会	山本数彦
官公庁連合会	平石弘行	松浦市剣道協会	高橋勝幸
学校剣道連盟	白石政雄	北松剣道協会	上野靖一郎
三菱重工剣道部	松尾満明	平戸市剣道協会	津上 忠
長崎市剣道協会	中村 篤	五島市剣道協会	深松鎮雄
西彼地区剣道協会	田添 等	上五島地区剣道協会	法村文孝
諫早市剣道協会	高屋晃三郎	壱岐剣道協会	山川 康
雲仙市剣道協会	松尾純伯	対馬市剣道協会	古藤省吾
島原市剣道協会	太田清敏	長崎県剣道連盟居合道部	平 禮道
南島原市剣道協会	森崎一成	長崎県剣道連盟杖道部	西島豊博
大村市剣道協会	開 健一	長崎県高体連剣道専門部	大島匡貴
東彼地区剣道協会	中尾真司	長崎県中体連剣道専門部	山田啓司

報告(1)・令和4年度 長崎県剣道選手権大会(男子・女子)兼第70回全日本剣道選手権大会県予選

会及び第61回全日本女子剣道選手権大会県予選会

令和4年5月15日(日)、シーハットおおむら(サブアリーナ)において、(一財)長崎県剣道連盟主催、(公財)KTNスポーツ振興財団後援で標記大会が開催されました。全国の長崎県出身の大学生や県内各地から精鋭が集い、全日本剣道選手権大会長崎県予選会にふさわしくレベルの高い熱戦を繰り広げました。

※男子優勝者は令和4年11月3日(日)東京都で開催される第70回全日本剣道選手権大会に長崎県代表として出場します。

女子優勝者は令和4年9月4日(日)奈良県で開催される第61回全日本女子剣道選手権大会に長崎県代表として出場します。

【男子個人戦】優勝 松尾大樹(長崎県警) 2位 藤山光治(長崎県警) 3位 北浦裕介(長崎県警)・大久保寛(長崎県警)

【決勝戦】○松尾大樹(長崎県警)メー 藤山光治(長崎県警)×

【準決勝戦】○松尾大樹(長崎県警)メーメ北浦裕介(長崎県警)× ○藤山光治(長崎県警)メー 大久保寛(長崎県警)×

【女子個人戦】優勝 岩本瑚々(筑波大) 2位 北浦菜海子(諫早市) 3位 大園望夏(長崎県警)・一ノ瀬千夏(西陵高校)

【決勝戦】○岩本瑚々(筑波大)メー 北浦菜海子(諫早市)×

【準決勝戦】○岩本瑚々(筑波大)メー 大園望夏(長崎県警)× ○北浦菜海子(諫早市)メー 一ノ瀬千夏(西陵高校)×



【男女優勝者】

松尾大樹(長崎県警)・岩本瑚々(筑波大)



男子入賞者



女子入賞者



男子個人決勝戦



女子個人決勝戦

報告(2)・第74回令和4年度長崎県高等学校総合体育大会剣道競技

標記大会が令和4年6月4日(土)～6日(月)、諫早市小野体育館で開催されました。女子個人戦では島原高校寄田有亜が西陵高校三田村明海を破り、優勝を飾りました。男子個人戦では準決勝、決勝は全員が島原高校同士の戦いとなりました。島原高校小柳宏成が同じ島原高校長崎祥太郎を破り、優勝を飾りました。女子団体決勝は西陵高校が島原高校を1-1代表戦の末に破り6年ぶり6回目の県王座を奪回しました。今季、県内主要大会で敗れてきた西海学園、島原を準々決勝、決勝で代表戦の末に連破しました。準決勝戦は大将米村が勝利の立役者となりました。両者譲らずの攻防で長引いた代表戦は西陵米村の片手メンで決まりました。決勝戦では西陵主将の三田村が躍動し、次鋒戦でメンの1本勝ちすると、代表戦延長戦の末にメンで勝負を決めました。西陵高校は全員が持ち味を生かして、すべての試合がかみ合っの勝利でした。男子団体は決勝で島原高校が長崎南山高校を2-1で下して4年ぶり15回目の優勝を飾りました。島原高校は春の全国選抜剣道大会3位の長崎南山に1月の全国選抜大会県予選では0-0からの代表戦で敗れていました。その後、高総体まで基本稽古を中心に地力を付け、決勝戦では先鋒西山が手堅く引き分けると、個人優勝の次鋒小柳がコテで1本勝ち。中堅戦では南山富田にドウを決められ互角の状況となりましたが、副将内藤が試合開始直後に飛び込みメンを決めて優位に試合を進め、中盤に再びメンを決め、二本勝ちをしました。最後は大将長崎が落ち着いて引き分け。4年ぶりに勝利しました。男女個人優勝者、準優勝者と団体優勝の島原高校男子と西陵高校女子は長崎県代表として高知県立春野総合運動公園体育館で開催される第69回全国高等学校総合体育大会剣道競技の優勝を目指しています。

(高総体結果詳細は県連ホームページに掲載)

女子団体 優勝 西陵高等学校、2位 島原高等学校、3位 西海学園高等学校、長崎東高等学校

男子団体 優勝 島原高等学校、2位 長崎南山高等学校、3位 西陵高等学校、瓊浦高等学校

女子個人 優勝 寄田有亜(島原)、2位 三田村明海(西陵)、3位 寺川 舞(島原)、永井 萌(島原)

男子個人 優勝 小柳宏成(島原)、2位 長崎祥太郎(島原)、3位 井上翔太(島原)、竹田章人(島原)



男子団体優勝(島原高校)



女子団体優勝(西陵高校)



男子団体決勝戦 島原高校×長崎南山高校



男子個人入賞者



女子個人入賞者



女子団体決勝戦 西陵高校×島原高校



男子個人決勝戦



女子個人決勝戦



コロナウイルス感染拡大予防対策説明

報告(3)・・令和4年度中央審査 合格者(段位・称号)

令和4(2022)年4,5月実施の審査会合格者<京都・愛知県> 中央審査合格者名簿【称号】 ※コロナ感染防止の為書類審査のみ ■剣道教士 (4名) (令和4年5月6日京都府) 荒川義史 47 三菱重工 清水勇作 48 学剣連 平松真司 56 佐世保 草野眞夫 66 南島原 ■剣道錬士 (1名) (令和4年5月6日京都府) 松永勝秀 58 三菱重工	令和4年5月(2022年)実施の審査会合格者<京都府> ■剣道八段 0/29 名中 (令和4年5月23日京都府) 一次合格: 4名 (島田貴文、白石政雄) (鹿取満、石原一郎)	令和4年5月(2022年)実施の審査会合格者<京都府・愛知> ■剣道七段 5/13 名中 (令和4年4月30日京都府) 野崎優花 41 学剣連 山口三男 49 公務員 今里智子 54 学剣連 (令和4年5月14日愛知県) 朝永将弘 40 佐世保 吉岡健治 47 諫早市
---	--	--

報告(4)・・第52回長崎県居合道段別選手権大会

(一財)長崎県剣道連盟主催、長崎新聞社後援の標記大会が令和4年5月15日(日)午前10:00より雲仙市立愛野小学校体育館において開催されました。段外から七段までの段別選手権では県内から居合道剣士54名、小学生8歳から高齢者82歳まで参加し、選手権大会及び個人演武に熱戦が繰り広げられました。

個人演武賞には岩永眞一郎(遊道会・長崎市)が選出されました。また、選手権では七段の部;宮崎大輔(友劔会・大村市)、六段の部;岩男徹史(平戸厚海会・平戸市)、五段の部;畑中健佑(遊道会・長崎市)が優勝しました。

令和4年10月8日(土)に東京都武道館において第57回都道府県対抗全日本居合道大会が開催されます。全日本居合道大会は県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化練習等で選考されます。

			
上位入賞者集合写真	七段の部優勝 宮崎大輔(友劔会・大村市)	六段の部優勝 岩男徹史(厚海会・平戸市)	五段の部優勝 畑中健佑(遊道会・長崎市)

第52回長崎県居合道段別選手権大会

令和4年5月15日(日) 於、愛野小学校体育館(雲仙市)。

	優 勝		準優勝		三 位	
段外の部	藤安美晴	(剣倫会)	藤安穂乃	(剣倫会)	宮崎優奈	(剣倫会)
初段の部	中野結香理	(生武館)	本多 光	(生武館)	溝上一徳	(葉志塾)
二段の部	澤勢 瑞城	(遊道会)	中村竜一	(葉志塾)	濱本陽菜	(剣倫会)
三段の部	天野秀明	(遊道会)	末次将士	(静心会)	※	※
四段の部	中村政樹	(修道塾)	緒川達弥	(虚心会)	中野武士	(生武館)
五段の部	畑中健佑	(遊道会)	作永憲昭	(佐世保剣心館)	井口隆好	(友劔会)
六段の部	岩男徹史	(平戸厚海会)	塩土宗喜	(友劔会)	※	※
七段の部	宮崎大輔	(友劔会)	竹本 剛	(生武館)	金丸律子	(平戸厚海会)
奨励賞	中村知美	(剣倫会)	奨励賞	陣川賢一	(友劔会)	
演武賞	岩永眞一郎	(遊道会)				